

自然体験活動幼児プログラム  
47.森のかくれんぼ

1. ねらい

自然の中に置かれた人工物を探すことで、楽しみながら集中力と観察力を養うことができます。また、この活動を通して、生き物の擬態や保護色について学ぶこともできます。

2. 時期・時間

- ・年間を通じて活動可能です
- ・1時間程度

3. 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
ロープ 人工物（若干数）	人工物（5～10個程度） ・色や形、大きさなど、いろいろな種類があると楽しくできます。

4. 活動内容

内 容	
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前にコースを設定し、人工物を草の茂みの中に隠したり、木にぶら下げたりします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工物は全てを見えにくい場所に隠すのではなく、いくつかは見つけやすい場所に置くことなど、参加者が楽しめるように工夫しましょう。</li> <li>・人工物については、「草むらには緑系の色の物を置く」というように周りと同化する色を置くことで、面白みが増します。このことによって、生き物が周りの色と同化して生活していることに気づかせるきっかけとなります。</li> <li>・セットした人工物以外のゴミなどを注意して取り除いておきます。</li> </ul> </li> <li>○ 人工物をセットしたコースにロープを張ります。（張ることができないようであれば、地面に置きます。）</li> <li>○ セットしたものを忘れないように、順番通りメモをしておきます。</li> </ul>
説明 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 参加者をコースの少し手前に集め、説明を行う。説明内容は、活動内容を参考に、子どもたちの実態に合わせて行ってください。</li> <li>○ 危険箇所・危険行動・自然保護等について、注意事項を確認しましょう。</li> </ul>
活動 40分	<p><b>【森のかくれんぼ開始】</b> <b>（参加者）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ スタート場所に1列で並びます。</li> <li>○ ロープ沿いに歩いていき、森の中に隠れている物（人工物）を探していきます。</li> <li>○ スタートからゴールまでの間に隠れている物がいくつあるのかを数えます。見つけても声に出さないように気をつけるようにしましょう。</li> <li>○ ゆっくり立ち止まって探したり、前の人を追い越すことはできませんが、後戻りして探すことはできません。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴールまで到着したら、見つけた数を指導者にそっと伝えます。</li> </ul> <p><b>(指導者)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゴールで一人待機しており、参加者が伝えた数に対して「まだまだあるよ。」「だいたい見つけたね。」「あと少しだよ。」のように目安を伝え、もう一度チャレンジしてもらいましょう。</li> </ul> <p><b>(参加者)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導者からのヒントをもとにして、もう一度チャレンジし、同じようにゴールで指導者に伝えます。合計2回チャレンジします。</li> </ul> <p><b>【ふりかえり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員が2回終わったら、答え合わせをします。みんなで確認しながら、思ったことや感じたことを出し合います。人工物を確認しながら、生き物の擬態や保護色について話をするといいでしょう。</li> <li>○ 答え合わせをしているときに指導者が置いていないゴミなどを見つけていた場合は、ゴミを回収することで環境教育にもつながります。</li> </ul>
--	--

整理 10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 隠したものを回収します。</li> </ul>
---------------	--

## 5. 留意点

- (1) 事前に当所職員と実施方法等について打ち合わせをし、必ず現地踏査をしましょう。
- (2) 活動中は引率指導者間の連絡を密にし、子どもたちを常に掌握し安全と事故防止に努めましょう。
- (3) 自然を大切にし、交通ルールを守りましょう。
- (4) 答えの数を競うことが目的にならないよう、「事前の説明」や「ふりかえり」の際に指導者が配慮しましょう。
- (5) 活動後は設置した人工物・ゴミ等を全て回収するようにしましょう。
- (6) 夏場は草木が生い茂っているため、蜂や毒ヘビ、有毒植物などなどに十分気をつけましょう。また、虫が人に寄ってきて集中できない場合があります。事前の下見の際に虫の状況を確認してください。